

児童手当・特例給付 受給事由消滅届

(あて先)八千代市長

提出年月日	※受付確認年月日
令和 . .	令和 . .

受給者	(ふりがな) 氏名	印	生年月日	昭和 . . 平成
	住所	八千代市 電話 ( )		

消滅した 受給事由	<p>1. 受給者が日本国内に住所を有しなくなった。</p> <table border="1"> <tr> <td>出国先(国名)</td> <td></td> </tr> </table> <p>2. 受給者が他の市町村(特別区を含む)に転出した。</p> <table border="1"> <tr> <td>転出先住所</td> <td></td> </tr> </table> <p>※転出により登録してある口座を変更する場合は、下欄に記入してください。</p> <table border="1"> <tr> <td>金融機関名</td> <td>支店名</td> <td>口座種別</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>普通・当座</td> </tr> <tr> <td>口座番号</td> <td colspan="2">口座名義人(フリガナ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>3. 受給者が子どもと別居することとなった(単身赴任の場合を除く)</p> <p>4. 未成年後見人でなくなった</p> <p>5. 父母指定者でなくなった(子どもの生計を維持する父母等の帰国)</p> <p>6. 子どもについて、次の事実が生じた</p> <p>(ア) 15歳に達した日の属する年度が終了した。</p> <p>(イ) 死亡した。</p> <p>(ウ) 監護しなくなった。</p> <p>(エ) 生計を同じくしなくなった。</p> <p>(オ) 生計を維持しなくなった。</p> <p>(カ) 日本国内に住所を有しなくなった。(留学を理由とするものを除く)</p> <p>(キ) 里親等への委託又は児童福祉施設等への入所</p> <p>(ク) その他( )</p> <p>7. その他( )</p>				出国先(国名)		転出先住所		金融機関名	支店名	口座種別			普通・当座	口座番号	口座名義人(フリガナ)				
	出国先(国名)																			
転出先住所																				
金融機関名	支店名	口座種別																		
		普通・当座																		
口座番号	口座名義人(フリガナ)																			
(該当するものを○で囲んでください。)																				

6の場合における子どもの氏名	
----------------	--

消滅事由の発生した年月日	平成 . 令和 . .
--------------	-------------

備考	
----	--

※印の欄は、記入しないでください。  
字は、楷書(かいしょ)ではっきり書いてください。  
記名押印に代えて、署名することができます。

注意

- 1 受給者が他の市町村（特別区を含みます。）に住所を変更したことによりこども児童手当等（児童手当及び特例給付をいいます。以下同様です。）の受給事由が消滅した場合で、その住所の変更について、転出届に児童手当等の受給者であることを書いて提出した場合には、この届は提出する必要はありません。なお、6の(ク)又は7を○で囲んだ場合は、( )内にその理由を具体的に記入してください。
- 2 全ての児童が15歳に達する日以後最初の3月31日を経過したことにより、児童手当等の受給事由が消滅した場合、この届を提出する必要はありません。
- 3 「生年月日」の欄は、受給者が法人である場合は記入する必要はありません。
- 4 6の(キ)は、里親等への委託又は児童福祉施設等への入所が2月以内の期間を定めて行われたものである等一定の要件に該当する場合は該当せず、この届を提出する必要はありません。